名古屋港の港湾機能の強化に関する要望書

平成 28 年 7 月

名古屋商工会議所
名古屋港振興協会
名古屋港利用促進協議会
名古屋海運協会
名古屋港運協会
東海倉庫協会

名古屋港の港湾機能の強化に関する要望

日頃は、名古屋港の発展のために、格別のご理解とご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

名古屋港は、背後圏に地域の雇用を支える自動車、工作機械、航空・宇宙、鉄鋼、電気製品等の産業が集積しており、中部地域の「モノづくり産業」の発展に欠かせない非常に重要な社会インフラであります。

また、平成２７年の総取扱貨物量が１億９，８００万トンと１４年連続で日本一であり、貿易黒字額においては、他港を大きく引き離す約６兆円を誇るなど、国内屈指の実力を持つ名古屋港は、当地域のみならず我が国の海の玄関口として着実な成長と発展を続けております。

今後も、我が国の経済・産業を牽引し続けるためには、「モノづくり産業」の更なる成長による国際競争力強化を図る必要があり、それらを国際産業戦略港湾として、物流面で支える名古屋港において、コンテナ貨物、完成自動車及びバルク貨物を取扱う総合的な港湾の一層の機能強化が必要不可欠であります。

また、今後予想される南海トラフ巨大地震等の大規模災害に対する防災・減災対策の強化が求められております。とりわけ、名古屋港の生産・物流機能が地震や津波等の被害により麻痺することは、我が国の経済に深刻な影響を与えかねないことから、国土強靭化の取組みを進めることが必要です。

つきましては、平成２９年度の予算編成に当たり、必要な港湾の予算を確保していただくとともに、格別のご高配を賜りますようお願い申し上げます。

１．我が国経済を牽引する自動車産業、工作機械産業、航空宇宙産業など中部圏の基幹･次世代産業の競争力を強化し、地域経済や雇用の面でストック効果が最大限に発揮できるよう物流機能強化を着実に推進

○　東南アジア向けの貨物が急増する中、コンテナ船についても大型船の導入が進展しており、コンテナターミナルの改良による効率的な輸送の実現に向け、飛島ふ頭東側における機能強化について、一刻も早い対応が必要

○　大型化する自動車運搬船の対応とともに、完成自動車取扱機能の集約・拠点化による効率的な輸送の実現に向け、金城ふ頭における機能強化について、一刻も早い対応が必要

○　南海トラフ巨大地震が想定されている中、災害時にも経済活動を停滞させることのないよう、港湾物流機能の維持が必要であり、耐震強化岸壁の整備などが必要

２．地域の産業にとって安全・安心を備えた港湾を実現するために、総合的な防災機能の強化や予防保全の観点を踏まえた施設の老朽化対策の推進

○　大規模災害に対し、防災・減災対策として国土強靭化の取組みを進めるとともに、港湾施設及び海岸保全施設の老朽化対策の推進が必要

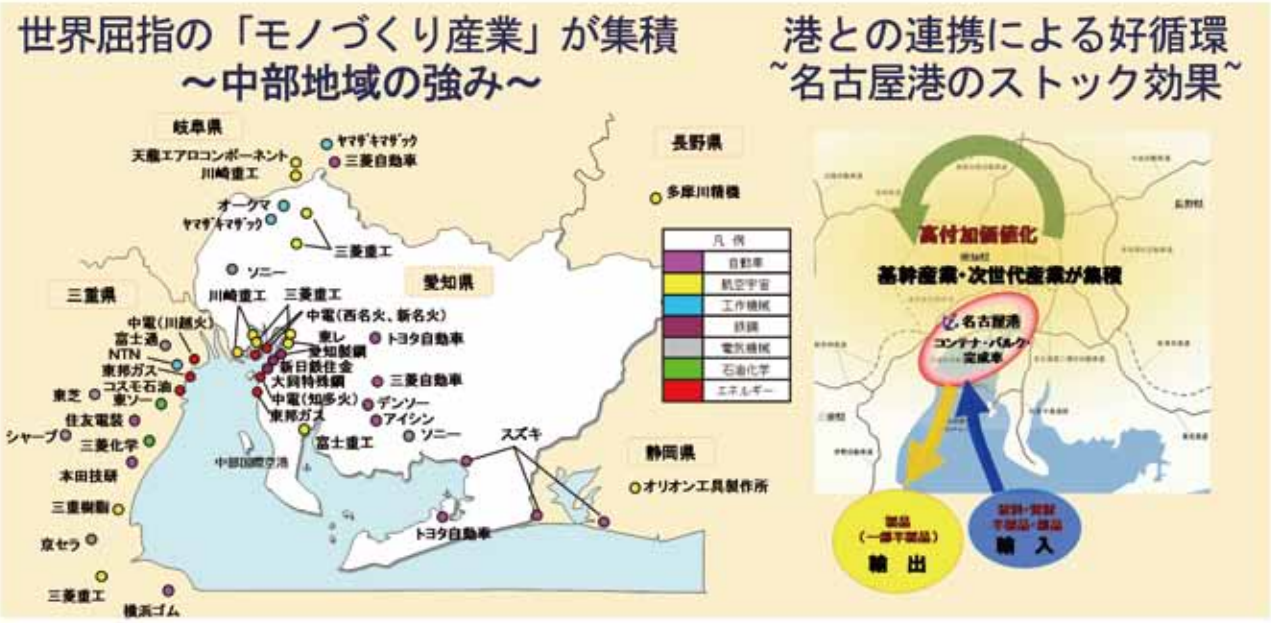
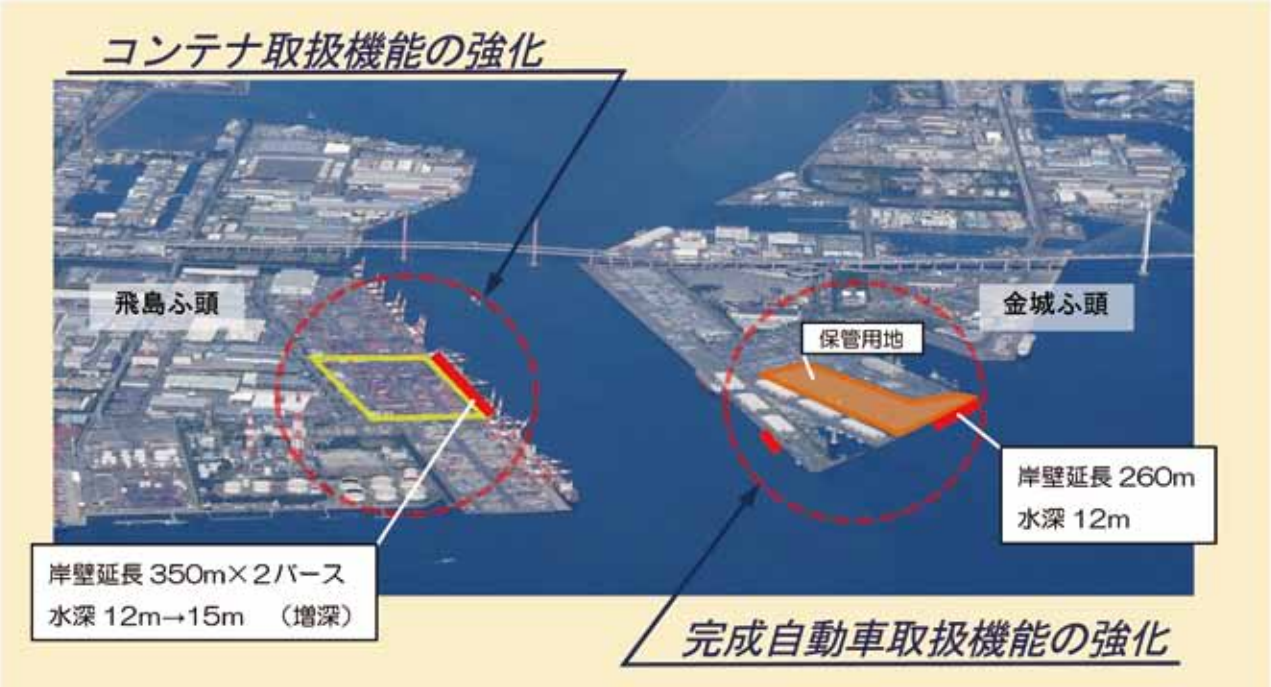
平成２８年７月

名古屋商工会議所
会頭　岡谷篤一

名古屋海運協会
会長　坪井伸夫

名古屋港振興協会
会長　藤森利雄

名古屋港運協会
会長　後藤正三

名古屋港利用促進協議会
会長　髙橋治朗

東海倉庫協会
会長　白石好孝